



# 富士見市立本郷中学校の取組

## 1 本校の概要

本校は、まもなく 50 周年を迎える市内で 2 番目に古い中規模校である。縄文遺跡の水子貝塚を学区内にもち、古代より人々が住まう歴史ある地域で四季折々の風情織りなす新河岸川や、実り豊かな田園地帯に囲まれた環境の中、夢と感動と思いやりがあふれ、誰もが成長を実感できる学校づくりを実践している。生徒理解に努め、教育相談活動を充実させ、一人一人を大切に教育を推進、成果をあげ、生徒や保護者の願いを実現するために学力・体力の向上に取り組んでいる。

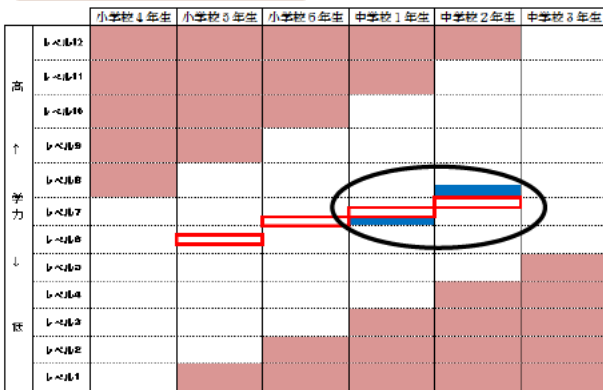


## 2 平成 29・30 年度の結果

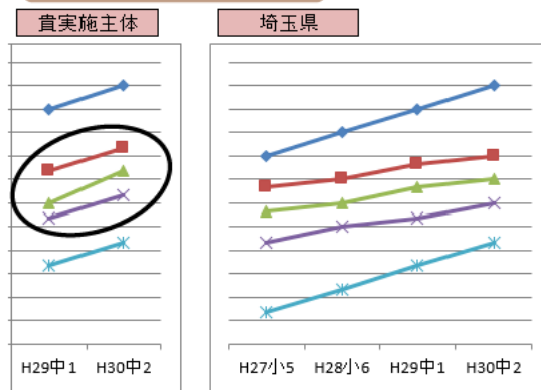
### 中学校 1 年生→中学校 2 年生の取組

#### (1) 学力の伸びから見られる特徴【数学】

今までの学力の変化



学力の伸びの状況



- 中1時は、数学の学力レベルが、県平均を下回っていたが、中2時は県平均を上回った。
- 上位層・中位層・下位層とすべてのレベルの生徒に大きな伸びがみられた。

#### (2) 伸びを引き出した効果的な取組

##### ア、「習熟度別学習」と「教え合い学習」の取組

- ・加配教員を活用して、单元ごとに学級を2つに分けて習熟度別学習に取り組んだ。
- ・生徒相互が解き方などを教え合う学習を取り入れた。数学が得意な生徒がリーダーとなって、解き方を教えたり、様々な考え方を共有し合ったりすることで理解をより深めることができた。
- ・生徒が全体の前で自分の考えた解き方や授業のまとめを自分の言葉で発表する活動を行った。

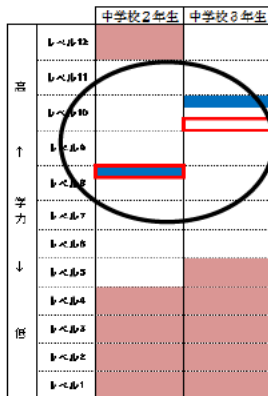
##### イ、定期テストの工夫・改善と家庭学習ノートの取組

- ・「学習に関するアンケート」を定期テストごとに実施し、興味・関心、意欲、授業の評価、自身の理解度、達成度の5項目について把握し、授業の進め方や指導法の改善に役立てた。
- ・家庭学習ノートを活用し、テストの振り返りや自主学習を促し、努力している生徒については表彰を行った。模範的なノートの取り方を紹介し、学習への取り組み方など個別に指導を行った。
- ・独自の實力テストを実施し、問題ごとに解答傾向や要因分析を行い、指導の改善を図った。

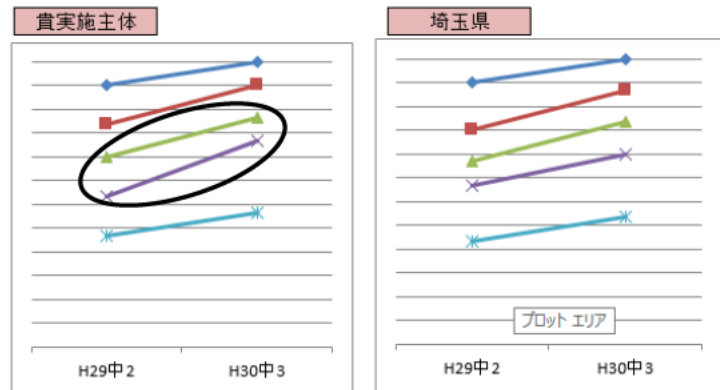
## 中学校2年生→中学校3年生の取組

### (1) 学力の伸びから見られる特徴【英語】

#### 今までの学力の変化



#### 学力の伸びの状況



- 英語の学力の伸びが県平均を上回っている。他教科も同様の傾向である。(校内で独自調査)
- 中・下位層の伸びが著しい。

### (2) 伸びを引き出した効果的な取組

#### ア、生徒の実態に合わせた授業改善

- ・ 「学習に関するアンケート」に基づいて生徒の意識をとらえ、意欲を高め、学習の成果を実感させるように授業改善を図ることで教科に対する苦手意識を取り除いた。
- ・ 英語教員とALTが英語を楽しく学ぶためのアクティビティを積極的に考案し、英語好きの生徒を増やした。

#### イ、リスニングと単語の学習を大切に

- ・ 「英語を聴いて分かる」ことが大切であることから、できるだけ英語で授業を進め、またリスニングの学習に適した教材を選んで取り組んだ。また単語の習得を重視し、繰り返し覚えさせた。

#### ウ、英語検定の積極的な導入

- ・ 生徒の英語に対する興味・関心を高めるために英語検定を通した取組を進めた。
- ・ 「英検クラブ」と称した放課後及び休日の学習会を開いて指導に当たった。
- ・ 卒業までに全員の英検（または漢検）取得を目標に全校あげて取り組んでいる。

## 学校全体での取組

#### ア、全教科で共通した「学習に関するアンケート」の実施による根拠に基づく授業改善

- ・ 年5回、10教科5項目について全生徒の自己評価を集めたデータを全教職員で共有している。
- ・ 定期テストの結果も集計表に含めてあり、個々の学習成果と合わせて分析することができる。

#### イ、家庭学習ノートの取組と評価

- ・ 毎日2時間以上の学習を課しノートを提出させている。成果を学期ごとに表彰している。
- ・ 小中連携を視野に「9年間をとおした家庭学習の手引き」を作成している。

#### ウ、授業規律「学習の五カ条」と生活の約束「十の戒め」を柱にした基本的生活習慣の確立

- ・ 「学習の五カ条」を定め、全授業で共通して守らせることで落ち着いた授業が展開されている。
- ・ 基本的生活習慣の確立が学習を支える基と考え、「十の戒め」を定めて指導を徹底している。

#### エ、学校だより、職員室だより、朝会や集会で学習に対するポジティブキャンペーンを展開

- ・ 集会や学校だより等で、学ぶことの意義、学校の役割、勉強の楽しさ・大切さなどのポジティブキャンペーンを行うことで、苦手意識を払拭し、前向きに学習に取り組むようになってきている。

#### オ、進路・キャリア教育の充実とボランティア活動の推進

- ・ 2年生の段階から具体的な進学等の情報を提供し、学習に向かうモチベーションを高めている。
- ・ 非認知能力の育成と自己肯定感向上のため積極的にボランティア活動への参加を促している。
- ・ 自己肯定感やプライドを高めるため様々な活動に参加させ、表彰などによって評価している。

